

# 2025年に向けた 医療機関毎の具体的対応方針について

千葉県 健康福祉部 医療整備課 地域医療構想推進室  
電話番号：043-223-2457 メール：chihuku@mz.pref.chiba.lg.jp

1

## 本日御協議いただきたい内容



各医療機関の具体的対応方針の変更内容について、

**① 2025年以降において担う役割や病床機能は、地域医療構想と整合的であるかどうか。**

**② その他、説明のあった変更の理由等については、地域医療構想に沿ったものであるか。**

以上の点について御協議をいただきたい。

# 具体的対応方針の策定について



## 「地域医療構想の進め方について【国通知】（H30.2.7）」

調整会議における具体的議論を促進するため、病院及び有床診療所に対して「具体的対応針」の策定を、都道府県に対しては、毎年度、具体的対応方針を取りまとめ、地域医療構想調整会議で協議することが求められた。

### 【※具体的対応方針とは】

各医療機関が定める2025年を見据えた「構想区域において担うべき医療機関としての役割」や2025年に持つべき「医療機能ごとの病床数」等についての方針



## 調整会議における協議（H31.3）

### ● H31.3 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議開催

各病院等から報告のあった具体的対応方針について協議し、合意が得られた。

⇒その後、変更があった場合は、その都度協議を実施。

3

# 具体的対応方針の策定について



## 具体的対応方針に係るこれまでの依頼内容 【令和元年8月20日付け健福第758号による依頼】

2025年における具体的対応方針について、変更等が生じた場合は、変更した具体的対応方針の内容について、報告・協議いただくよう依頼。

⇒しかし、2025年まで残り2年となる中で、**令和4年度に病床配分が実施された医療機関などでは、医療機能ごとの病床数の変更について2025年以降であることも生じる。**



## 「2025年における医療機関ごとの具体的対応方針の今後の協議の進め方及び手続き等について（通知）」【令和5年4月19日付け医第155号】

- 基本的な内容については、令和元年の通知を踏襲。
- 変更点については以下のとおり。

### 【主な変更点】

- ①2025年以降の医療機能ごとの病床数等について変更等が生じる場合についても、調整会議で協議を行うものとして整理。
- ②2025年以降の機能変更等についても記載できるよう、様式を改正。

※千葉県ホームページから報告様式がダウンロードできます。今後の報告に当たっては新様式を御使用ください。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/keikaku/kenkoufukushi/chiiikiiryokousou.html>

ホーム > くらし・福祉・健康 > 健康・医療 > 保健医療政策 > 地域保健医療連携・地域医療構想調整会議

4

# 具体的対応方針の変更について（香取海匠地域）



- 前回開催した香取海匠地域医療構想調整会議以降、2 医療機関が内容変更報告。  
※作成済の具体的対応方針の一覧表を更新
- あくまで現時点で考えられる役割・機能であり、他の医療機関の方針も含めた地域の状況を確認しつつ、具体的対応方針に変更があった場合には、引き続き報告をお願いしたい。

## ○変更の報告のあった医療機関

	医療機関名（2 機関）
病院	①東庄町国民健康保険東庄病院 ②九十九里ホーム病院

※①については、公立病院経営強化プランとして議事3で協議を実施。  
※ その他の公立病院については「公立病院経営強化プラン」を具体的対応方針として、年度内に協議を実施。

## ○当該圏域の病床機能の状況

### 【R3病床機能報告(R3.7.1)】

(単位：床)

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計
必要病床数 (R7年)	A	289	745	587	560	-	2,181
病床機能報告 (R3.7.1)	B	67	1,566	269	841	108	2,851
差し引き	B-A	▲222	821	▲318	281		670
		不足	過剰	不足	過剰		過剰

### 【定量的基準に基づく推計値(R3.7.1)】

(単位：床)

		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟等	計
必要病床数 (R7年)	A	289	745	587	560	-	2,181
R3推計値	B	157	867	619	861	347	2,851
差し引き	B-A	▲132	122	32	301		670
		不足	過剰	過剰	過剰		過剰

※ 「休棟等」には非稼働や健診のための病棟等のほか、報告対象医療機関のうち未報告の病床等を含む。また、推計値の「休棟等」には、診療実績等のデータの欠損により分類不能となった病棟も含む。

※令和4年度分については、国のデータ提供が遅れたため、現在集計中。

## 病院・有床診療所に係る方針変更報告書（具体的対応方針）

## 1 基本情報等（変更事項は該当項目に☑）

法人名	社会福祉法人九十九里ホーム
医療機関名	九十九里ホーム病院
所在地	千葉県匝瑳市飯倉 21 番地
変更事項	<input type="checkbox"/> 今後担う役割 <input checked="" type="checkbox"/> 病床機能

## 2 2025年以降において担う役割（該当項目に○）

	がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他
変更前（2025年）											
変更後（2025年）											
R0年見込み※											
その他の内訳及び補足等											

※R8年以降に役割の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載ください

## 3 病床機能及び入院料

	変更前	変更後	R0年見込み※	届出予定の入院料
4 機能 合計	149 床	145 床	床	
高度急性期	床	床	床	
急性期	44 床	44 床	床	地域一般入院料 3
回復期	22 床	51 床	床	地域包括ケア病棟入院料 2 回復期リハビリテーション病棟入院料 5
慢性期	83 床	50 床	床	療養病棟入院料 2
人間ドック等	床	床	床	
休棟等	床	床	床	
廃止予定	床	4 床	床	
介護施設等への移行予定	床	床	床	

※R8年以降に病床機能の見直し予定がある場合は、見直し後の見込みを記載ください

## 4 病床機能、担うべき役割を変更する理由等

回復期リハビリテーション病棟は、香取海浜保健医療圏に不足しており、特に旭市・匝瑳市には開設している医療機関がない状況である。当院は、以前から急性期病院と連携し、回復期～生活期、慢性期を対象にリハビリテーションを進めてきたが、脳卒中、整形外科を中心に更なる地域連携を担うべく、令和5年度内に療養病棟 83 床のうち 29 床を回復期リハビリテーション病棟へ変更する予定である。また、回復期リハビリテーション病棟開設に伴い、病床数を 149 床から 145 床へ減床する予定である。



No.	医療機関名	2025年に担う役割（予定を含む）											2025年における機能別病床数					変更の理由等					
		がん	脳卒中	心血管疾患	糖尿病	精神疾患	救急	災害	周産期	小児	在宅	その他	補足	計	休棟等	移行予定	備考						
																			高度急性期	急性期	回復期	慢性期	
<b>【診療所】</b>																							
19	医療法人社団清英会鈴木眼科医院											○	白内障			7			7				
20	医療法人社団根本医院	○			○											(16)			(16)				機能別病床数未回答(括弧内はR3病床機能報告から)
21	医療法人社団増田産婦人科											○	産婦人科			19			19				
22	飯倉医院	○															16		16				
23	(仮称) 香取レディースクリニック										○					10			10				令和4年8月着工予定

注1) 前回報告時以降、具体的対応方針に変更があった医療機関の列を着色（薄緑色）しています。

注2) 前回報告時以降、変更があった個所について、赤字下線としています（医療機関名の変更のみの場合を除く）。

注3) 一覧表に記載の「2025年に担う役割」「2025年における機能別病床数」に変更があった場合は、県まで報告をお願いします。